

県花き品評会 市内生産者から受賞者多数

1月27日、福島県農業総合センターで開催された第46回県花き品評会の表彰式で、市内生産者が受賞しました。2月3日に農林水産大臣賞を受賞した佐久間さんが、本田市長に受賞の報告をしました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

▶金賞(農林水産大臣賞) 佐久間幸一さん(船引町)「精しるく(小ぎく)」▶銀賞(福島県農業協同組合中央会会長賞) 遠藤幸子さん(大越町)「精るこう(小ぎく)」▶銅賞(福島県花き振興協議会会長賞) 佐藤恭子さん(船引町)「精やすず(小ぎく)」、坪井令士さん(常葉町)「精しらいと(小ぎく)」、「秀ありな(小ぎく)」



顕彰受賞 佃 光堂さんが県文化振興財団顕彰を受賞

1月28日、(公財)福島県文化振興財団顕彰の表彰式が、福島市のザ・セレクト福島で開催され、地域文化の向上・振興における優れた功績に対し、音楽部門で佃光堂さんが受賞しました。

佃さんは、県民謡連盟会長を務め、昨年で8回目となった、誰でも気軽に出場できる民謡コンクール「福島県民謡王座決定戦」を企画・開催しています。平成22年に「民謡光堂流」を創設し、広く民謡の指導を行い、民謡文化の継承、普及と振興に積極的に取り組まれています。



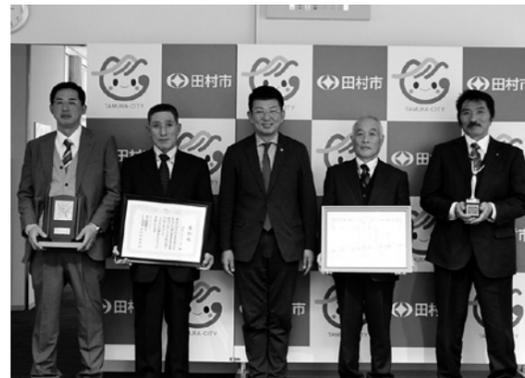
▲佃 光堂さん(中央)

豊かなむらづくり MKFカンパニー(都路町)が農業生産部門で受賞

1月30日、「豊かなむらづくり顕彰事業」表彰式が福島市の杉妻会館で開催され、都路町で組織的な稲WCS(稲発酵粗飼料)生産を行っているMKFカンパニーが、農業生産部門で表彰され同日、本田市長へ受賞の報告をしました。

MKFカンパニーは、畜産経営安定化と地域農業の復興を目指し設立され、飼料用稲を作付し地域の水田を有効活用し、地域内で初めての稲WCS生産に取り組んでいます。

高品質な稲WCSの生産で粗飼料が安定的に供給され、繁殖成績の改善・向上にも繋がり、中山間地域にある農地の荒廃解消にも貢献したことが評価されました。



▲MKFカンパニーのみなさん

協定締結 藤倉航装(株)と立地協定を締結、技術センターを建設

市は、1月6日、市産業団地(大越町)に立地が決定した藤倉航装株式会社(東京都、船引第2工業団地に工場)と企業立地に関する相互協力を目的に協定を締結しました。

国内唯一のパラシュートメーカーの同社は、昨年80周年を迎え、昭和14年の創業以来、パラシュートのほか特殊被服や宇宙観測機材、救命胴衣などの各種製品開発・製造を続け、防衛や航空宇宙産業、人命救難救助に関わる諸部門の活動に貢献しています。

市産業団地に新設する技術センターは、船引工場の技術部門を独立させるもので、技術部門の拡大強化が期待されています。



藤倉航装株式会社・田村市 企業立地に関する基本協定締結式

叙勲 先崎さん二瓶さんが旭日単光章を受賞

滝根町の先崎敏さん、二瓶太治さんの2人が高齢者叙勲「旭日単光章」を受賞されました。

伝達式で県中地方振興局の小柴局長から勲章と勲記が手渡され、本田市長が立ち会いました。

【先崎敏さん】

伝達式は1月16日、介護老人保健施設滝根「聖・オリオンの郷」で行われました。

先崎さんは、昭和54年4月に滝根町議会議員に初当選以来、4期12年の長きにわたり活躍され、副議長や、産業建設常任委員会委員長などを歴任し、地方自治の振興と発展に貢献した功績が認められました。

【二瓶太治さん】

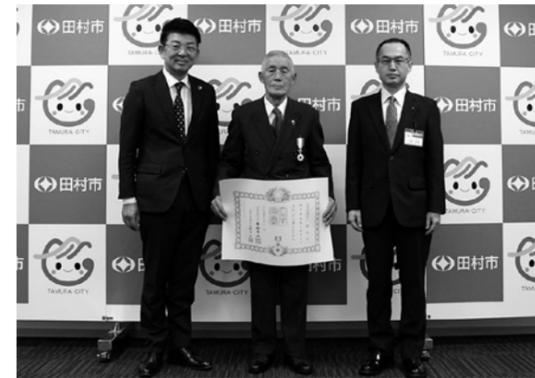
伝達式は2月5日、市役所で行われました。

二瓶さんは、昭和58年4月に滝根町議会議員に初当選以来、4期16年の長きにわたり活躍され、文教厚生常任委員会委員長などを歴任し、地方自治の振興と発展に貢献した功績が認められました。

おめでとうございます！



▲先崎敏さん(中央)



▲二瓶太治さん(中央)

表彰 宗像 修委員長 選挙の適正な管理執行が認められ受賞

宗像修選挙管理委員長が、選挙の適正な管理執行と啓発に努めたことを高く評価され、第25回参議院議員通常選挙にかかる福島県選挙管理委員会表彰を受賞し、1月27日に郡山合同庁舎で県中地方振興局長から表彰状が伝達されました。

宗像委員長は、選挙管理委員会の委員・委員長として13年もの長きにわたり、本市選挙の適正な管理執行にご尽力いただいています。



▲宗像委員長(左から2人目)

感謝状贈呈 滝根町子ども会育成会の集団夜警に感謝状

2月7日、滝根町子ども会育成会連絡協議会の集団夜警に対する感謝状贈呈式が滝根公民館で行われ、6年生の瀧口彩心さん、會田悠人さんに感謝状が贈呈されました。市消防団の角田久夫滝根地区隊長、田村消防署の大内修二主査、郡司博樹会長ほか子ども会役員が出席しました。

滝根町子ども会の防火夜警活動は、昭和61年から始められ、今年で33年を迎えます。今年度は、関場子ども会の10人の子どもたちが、地域の火災予防活動をしました。

